

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ハウス平塚	階数	地上10F 地下0F
建設地	平塚市錦町1番4 外4筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	403 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年6月15日
敷地面積	1,507 m ²	作成者	株式会社設計工房イー・ディ
建築面積	1,131 m ²	確認日	2021年6月15日
延床面積	8,822 m ²	確認者	株式会社設計工房イー・ディ



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 46 (kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 46 (kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 2

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 2

LR2 資源・マテリアル: 1

LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

音環境	3.0
温熱環境	3.6
光・視環境	3.5
空気質環境	3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

機能性	3.6
耐用性	3.0
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.1

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

建物外皮	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.1
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源	2.2
非再生材料	3.1
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化	3.6
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
平塚駅から徒歩8分の商業地域に、単一用途の共同住宅を周囲の街並みに調和を図りつつ計画をした。	0
Q1 室内環境 ・ 建築材料は、告示対象外の建材及びJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。	Q2 サービス性能 ・ 住宅性能評価における劣化対策等級3を取得予定。 ・ 耐用年数の長い給排水配管を採用。
LR1 エネルギー ・ 住宅性能評価における断熱等性能等級4を取得予定。	LR2 資源・マテリアル ・ ODP=0, GWP<50のN/P/Pの発泡剤を用いた断熱材等を使用している。
	Q3 室外環境(敷地内) ・ 日影や緑地の形成による暑熱環境の緩和。
	LR3 敷地外環境 ・ 広告物照明は、行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される